

熊本信用金庫は、来年の創立100周年を記念したロゴのデザインを崇城大の学生から募集し、3年のシャムスル・アバディ・ビン・ラムリさん(23)＝マレーシア出身の作品に決定した。来年4月から1年間、職員らのピンバッジや名刺、広報活動などで活用する。

熊本信金と崇城大は、4月からロゴ制作プロジェクトを開始。デザイン学科グラフィックデザインコースの3年生23人が、同金庫の業務内容や歴史を学び150超の案を制作した。学内選考で8人の10案に絞り、



熊本信用金庫の井星伸一理事長（中央）から表彰状を受け取ったシャムスル・アバディ・ビン・ラムリさん（左）と夏野真衣さん＝熊本市中央区

熊本信金100周年ロゴ

崇城大生がデザイン



熊本信用金庫の創立100周年記念のロゴに決定したシャムスルさんのデザイン（同金庫提供）

7月の役員選考で実際に使用する最優秀賞を決めた。

シャムスルさんのロゴは「100周年という高い雲」を超えて羽ばたく鳥の姿や、同金庫の軌跡をイメージした黄色の曲線で「100」を表現。ターコイズブルーで熊本の豊かな水や緑の調和を、輝く星で未来をそれぞれ表し、「洗練されたデザイン」などと高い評価を得たという。

15日、熊本市中央区の同金庫本店で井星伸一理事長が表彰状を手渡した。シャムスルさんは、「教育への希望を持つことができた日本へ恩返しする」という夢の一つがかなった。ロゴの鳥のように晴れた雲の上を目指して勉強を頑張っていきたい」と話した。準グランプリの理事長賞には、夏野真衣さん(20)が選ばれた。

(原大祐)